

## 第5章 基本指標

### 1. 人口と世帯数

本町の人口は、平成17年国勢調査では15,698人と、平成12年国勢調査結果より、人数で936人、率で5.6%の減となっています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、今後も減少傾向が続くものと予想され、平成22年15,107人、平成27年14,179人と推計されています。

年齢構成においても、これまで同様、若年層の流出、出生率の低下や長寿化による少子高齢化が進み、目標年度（平成28年度）における年齢階層別の人数を、年少人口（0歳から14歳）1,892人、生産年齢人口（15歳から64歳）8,351人、老年人口（65歳以上）3,735人と推計されます。

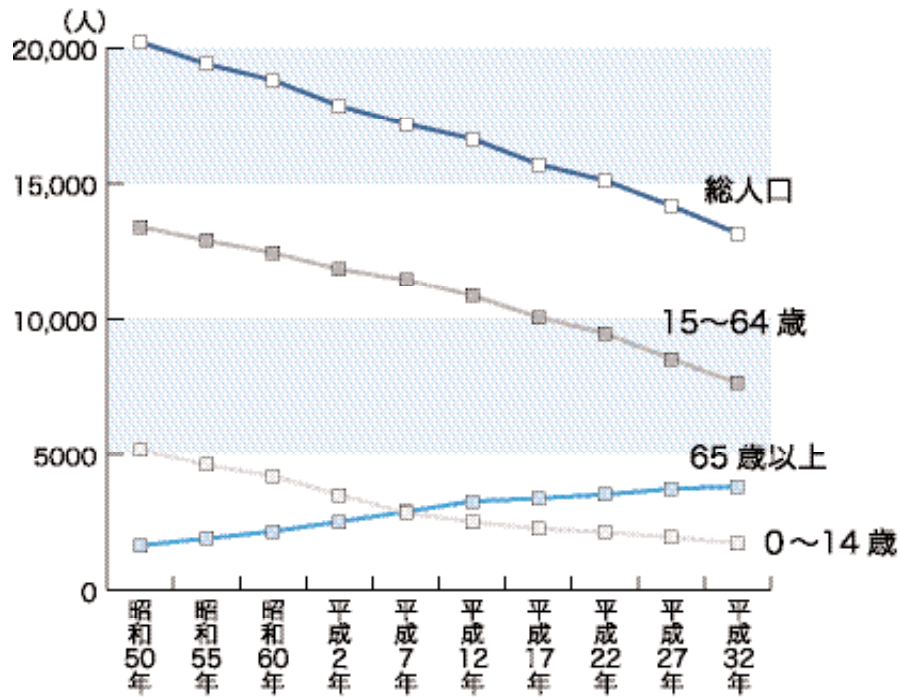
この推計を基本として、本総合計画の各施策を推進し、人口減少に歯止めをかける取り組みを進めることにより、

目標年度である平成28年度の人口を「**14,000人**」と想定します。

また、世帯数は、人口の減少傾向は続くものの核家族化などにより増加してきましたが、近年は横ばい状態が続いていることから、目標年度における総世帯数を7,200世帯と想定します。

しかし、近年は、国・道の出先機関の統廃合が実施され、出先機関の多い本町にとりましては、存続に向け、要望活動などを展開してまいります。これらの進展により、町全体の大幅な人口減少と経済などの衰退に繋がる大きな課題を抱えています。

## 浦河町の人口の推移



年	総人口	0~14歳	15~64歳	65歳以上
昭和50年	20,213	5,165	13,411	1,637
昭和55年	19,408	4,605	12,906	1,897
昭和60年	18,808	4,193	12,461	2,154
平成2年	17,862	3,497	11,851	2,514
平成7年	17,186	2,846	11,461	2,879
平成12年	16,634	2,506	10,868	3,260
平成17年	15,698	2,232	10,023	3,443
平成22年	15,107	2,126	9,471	3,510
平成27年	14,179	1,935	8,527	3,717
平成32年	13,176	1,721	7,646	3,809

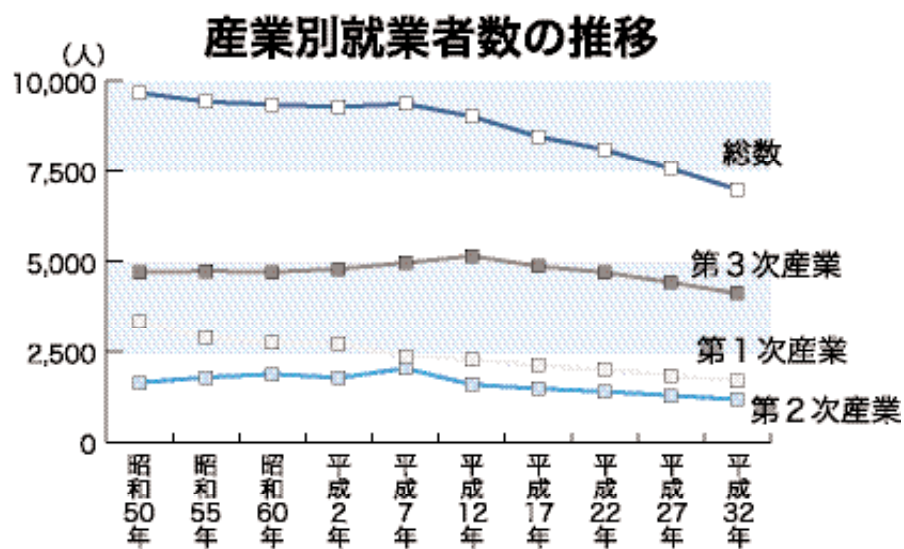
※平成22年以降は推計値

## 2. 産業別就業者数

就業者は、平成12年国勢調査では9,022人と、平成7年国勢調査より、人数で346人、率で3.7%の減となっています。平成17年国勢調査の結果が公表されていませんが、人口の推移やこれまでの傾向を考え合わせると、就業者数の減少傾向も続くものと思われます。

産業別構造の割合は、第1次産業と第2次産業が減少傾向となり、第3次産業は増加するものと思われます。

このことから、目標年次における就業者数を「7,463人」、第1次産業就業者数を「1,821人」、第2次産業就業者数を「1,269人」、第3次産業就業者数を「4,373人」と想定します。



年	就業者数	第1次産業	第2次産業	第3次産業
昭和50年	9,671	3,333	1,639	4,699
昭和55年	9,427	2,898	1,787	4,742
昭和60年	9,348	2,760	1,877	4,711
平成2年	9,285	2,711	1,775	4,799
平成7年	9,368	2,370	2,032	4,966
平成12年	9,022	2,285	1,586	5,151
平成17年	8,460	2,115	1,472	4,873
平成22年	8,097	2,000	1,393	4,704
平成27年	7,557	1,844	1,285	4,428
平成32年	6,983	1,683	1,173	4,127

※平成17年以降は推計値